



## ツル保護会設立

昭和三十九年度末には、負傷したツルのために、約三坪(約一〇平方メートル)の「療養飼育舎」が建設された。更に、ツルの生態や保護のための注意を記したチラシを印刷し、住民や学校・職場等に配布して保護思想の普及に乗り出したのもこの時期である。また、同四十年から翌年にかけては、ツル保護会や市教育委員会から関係機関に対し、「野犬の取り締まり」「猟銃所有者に対してツル保護の啓発」「罟設置禁止の周知」等を働きかけ、保護のためのさまざまな手立てが講じられた。



人工ねぐら 昭和三十七年(一九六二)の出水干拓西地区(通称「西干拓」)に続き、昭和四十年には出水干拓東地区(通称「東干拓」)も完成した。この両干拓地の完成前の湿田をねぐらにしていたツルも多く、そのため、ねぐらを追われる恐れが出てきた。ツルにとって欠かせない生息地を守り、恒久的なねぐらを確保するため、昭和三十九年出水市は人工のねぐらを設けた。荒崎の中央付近に、前年に給餌場用地として購入していた水田約一・五ヘクタールに水を浅く張ってねぐらとしたのである。干拓地は地下水位が高いので、水田の隅に突き井戸を掘り、自噴する水がねぐらに利用されている。井戸水なので水温は約十八度とほぼ一定していて、冬場でも凍ることがない。その後、夏季の水田用の用水を冬場も確保し、地下水と併用するようになった。この人工ねぐらは、現在まで、同様の位置に確保され、重要な役割を果たしている。

給餌管理人 終戦後の混乱がようやくおさまりにかけた昭和二十二年(一九四七)、潟集落の又野末春は岡田孫市と二人でツルの羽数を調べ始めた。食糧難の時代に、ツルの食害をなるべく少なく食い止めるため、ツルに餌付けをすることが目的だった。そのためには、どこに何羽が生息しているかを知る必要があった。今の広大な干拓地は、当時はまだなかったもので、ねぐらも六カ所に散らばっていた。二人で自転車をこいで、羽数を調べてもらった。二人が出水市から給餌を依頼されたのは昭和二十九年(一九五四)であった。なるとか農作物被害を防がなければと思っていた又野は、即座に給餌を引き受けたという。二人は、以前からツルの観察も始めていた。警戒心の強いツルを観察するには工夫が必要だった。現在のツルの休遊地に最も近いところに又野の自宅があった。その藁葺きの家から藁で下屋を出し、縁台に座り、箱火鉢で暖を取りながら観察した。写真を撮ろうにも望遠レンズもなく、餌のモミを撒きながら少しづつおびき寄せたり、田んぼの中に藁で作った隠れ蓑の中に潜んで撮影したりしたという。昭和三十七年(一九六二)、ツル保護会が発足し、現地での給餌や保護の状況に目を配るツル保護監視員に岡田・又野が委嘱された。二人は、それまで出水市から同じ仕事を委嘱されており、引き続きの業務であった。昭和四十五年、ツル保護監視員のひとり岡田孫市が五八歳で亡くなった。彼は昭和二十九年に出水市からツル保護監視員に委嘱され、以来、一五年にわたりツルに愛情を注ぎ続けていた。この翌年、ツルの餌の小麦をカモに食われないように、農道の砂利に撒く方法が見つけれ出され、今に至っている。カモは砂利の中に撒かれた麦を食べるのは難しかったのである。

給餌管理人の仕事は、ツルの第一陣(初渡来)を確認することからシーズンが始まる。十月上旬からは昼夜ともに初渡来に気を配り、確認するとツル保護会事務局に連絡し、ここから報道各社へツルの第一陣の情報が流れる。「ツルの第一陣到着」は、長年、季節の風物詩として報道の定番になっていくため、気が抜けない仕事のひとつである。その他、休遊地の巡回や、羽数調査も重要な業務である。また、現在では、北帰行の開始とそれ以降には、北帰行するツルの数と種類を事務局の職員とともに確認している。

(出水郷土誌下巻 特別編ツル)・・・次号へ続く



ツル保護監視員の岡田孫市(右)と又野末春(昭和41年)



March

3月

二十四節気 啓蟄(3月5日) 春分(3月20日)

キーワード ひな祭り・ホワイトデー・春一番

2020年

卒業・就職・引越・桜前線・お花見



Calendar table for March 2020 with columns for days of the week and specific dates. Includes a COVID-19 notice: '新型コロナウイルス感染症に負けないぞ!! 貸出期間「3週間」、貸出冊数「無制限」 3月も継続'

作家の命日・3月

- 2日 生島治郎 2003年 19日 夏樹静子 2016年
7日 黒岩重吾 2003年 20日 須賀敦子 1998年
11日 夢野久作 1936年 20日 伊藤計劃 2009年
13日 内田康夫 2018年 22日 城山三郎 2007年

3月のできごと

- ゲーム機PlayStation 2が発売(2000年3月4日)
核拡散防止条約が発効(1970年3月5日)
未成年者喫煙禁止法公布(1900年3月7日)
山口百恵が芸能界引退を発表(1980年3月7日)
東京大空襲(1945年3月10日)
世界気象機関設立(1950年3月23日)
桜田門外の変(1860年3月24日)
よど号ハイジャック事件(1970年3月31日)
世界初の冷凍食品発売から90年(2020年3月6日)
金子みすゞ没後90年(2020年3月10日)
大阪万博開幕から50年(2020年3月14日)
黒澤明生誕110年(2020年3月23日)
内村鑑三没後90年(2020年3月28日)

運動・週間

- 春季火災予防運動(3月1日~7日)
子ども予防接種週間(3月1日~7日)
女性の健康週間(3月1日~8日)
自殺対策強化月間(3月1日~31日)
春の睡眠健康週間(3月11日~25日)

主な文学賞 (19年度実績)

- 吉川英治文学賞 日本絵本賞
吉川英治文学新人賞 H氏賞



3月の研修室使用予定

今月は専用利用はありません。自習だけのご利用となります。ただし、机は10脚、イス10人分までのご利用となります。理由は、感染症拡大防止のためです。

- 中央図書館 電話0996-63-2105 今月の休館日は 16日(定期)
高尾野図書館 電話0996-82-5452 " 20日(定期) 中の市が延期のため。
野田図書館 電話0996-84-3100 " 23日(定期)

メールアドレス izumilibrary@iaa.itkeeper.ne.jp https://www.izumi-library.com 今月の休館日は?